

サービス推進室では、医療安全に関する情報を収集し、看護現場で役立つポイント等を付加して提供しています。それぞれの現場に応じた点検ツールとしてお役立てください。

No.1

臨床研究において、メールの誤送信による患者情報の漏洩がありました。

報道記事

大学付属病院の医師が、がんの患者の生年月日や名前、症状などの個人情報約 3400 件分を、宛先不明のメールアドレスに誤って送信し、漏洩させたと発表した。

病院によると、医師は 7 月 24 日、がんの臨床研究に協力していた患者の個人情報を含めたエクセルファイルを送る際、メールアドレスを間違えて送信した。

医師は他の医師に送信状況を電話で報告した。

医師は承認された研究計画書を遵守せず、患者の個人情報を含めた調査票の記載を依頼していた。また、個別の病院と必要な情報のみをやり取りすべきところ、他病院の患者情報を含め一斉送信していました。さらに、情報共有にあたってはメールアドレスの確認や、パスワードロックを怠りました。

また、個別の病院と必要な情報のみをやり取りすべきところ、他病院の患者情報を含め一斉送信していました。さらに、情報共有にあたってはメールアドレスの確認や、パスワードロックを怠りました。